

広報みはま

MIYAMA



Oct.2023

10

No.633

特集

Special Feature

まちづくりの源泉



まちづくりの源泉

特集

Special Feature

「なんとかせねば——。」

地域の方々を突き動かしたのは、
自分たちが生まれ育った地域が衰退していくのを
身をもって感じた瞬間でした。

この地域の魅力を、この原風景を
次の世代に残したい。

その一心で、集落の活性化に取り組む人たちがいます。

今月号の特集は、町内で集落の活性化に向けて
取り組む団体の活動を紹介します。

撮影場所：耳川上流(新庄)

わたしの夢、語ります

岡本 ^{ふうあ}楓彩 さん 美浜東小学校 6年(佐田)

私の将来の夢

私は、将来モーターボートレーサーになりたいです。
理由は、家族でボートレースを見に行ったときに、
ボートに乗っている人がすごくかっこいいと思ったの
と、尊敬しているボートレーサーがいて、その人みたい
にうまくボートに乗れるようになりたいからです。

そして、かっこいいボートレーサーになって、家族の
みんなを支えられる人になりたいです。

先日、VRでモーターボートを体験しました。ハンド
ルとアクセルのレバーを同時に操作するのが難しかった
けれど、とても楽しかったです。

ボートレーサーになるのは難しいかもしれないけれ
ど、みんなに尊敬してもらえる人になりたいです。



CONTENTS 目次 広報みはま2023年10月号

- 2 私の夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 特集 まちづくりの源泉
- 10 まちウォッチング
美浜地区自衛消防隊操法大会／第42回福井県市町文協選抜美術展 他
- 12 みはまシナプスプロジェクト
～子どもと大人が交わるまちづくり～
- 13 北・南・耳地区の旧音声告知受信端末機の
回収について(無償)
- 14 美浜町のニュース
電池推進遊覧船「Grebe」就航式／北西郷公民館 ふでやま防災講座
- 15 美浜発電所の状況について
- 16 情報BOX
下水道への早期接続をお願いします／もの忘れ相談会を開催します 他
- 23 ふるさと昔よもやま話138／文芸欄
- 24 すこやか放送局
- 26 ハートフル広場
はじめてバスデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 28 暮らしのカレンダー

- 表紙の写真 -



9月3日に開催された美浜中学校の体育祭で、応援合戦をする黄組の生徒たちです。

当日は秋晴れのもと、生徒たちは各色の団長を中心に競技やこれまで練習を重ねてきた応援合戦に一生懸命取り組んでいました。

学年の枠を超え、一致団結する生徒たちの姿に、訪れた保護者たちは拍手喝采を送っていました。



100年先まで持続可能な集落づくり
一般社団法人

佐柿国吉100年プラン 推進委員会

◆法人の設立

一般社団法人佐柿国吉100年プラン推進委員会は、佐柿区が策定した集落元気プラン「佐柿国吉100年プラン」を推進する団体として令和4年2月に設立されました。構成員は、平成12年に発足された佐柿国吉会のメンバーを主とし、100年先も安心して暮らせる持続的な集落づくりを目指しています。

事業内容は、佐柿の町並みを保存し、集落内の環境美化に関することや若狭国吉城跡の活用と保存に関する事、区内にある空家の利活用に関する事等、佐柿国吉100年プランを推進し、その実現に資する事業を行っています。

◆収入源

区内には、若狭国吉城歴史資料館があり、資料館の維持管理業務等の請負費が収入源となっています。

また、キーホルダーやTシャツ、御城印等のオリジナルグッズの販売により収入を得ています。

グッズ等の販売は、国吉城歴史資料館の他、道の駅若狭美浜はまびよりや国吉城まつりでも行っており、収益全体の3分の1を自分たちで稼ぎ出しています。

推進委員会では、これまで無料の奉仕作業として行われていた休耕田の草刈りや地区のイベントの雑務等を請け負い、参加した会員に対価を支払うことで人手不足の解消を図っています。

◆国吉城まつりをリニューアル

国吉城まつりの運営を請け負い、イベントの規模を拡大。ステージイベントに福井伝統工芸アイドルを招待したり、芸術家のライブイベントを開催する等して、当日は1,000人以上が来場するイベントとなり、オリジナルグッズの売り上げも向上しました。

◆集落づくりの推進

今後は、令和6年3月16日の北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光ガイドの育成や休憩所整備等、佐柿区への観光客を受け入れる体制を整えていきます。



高齢化や人口減少等の課題に直面する佐柿区では、100年先まで持続可能な組織づくりを目指し、さまざまな取り組みが行われています。これまでの集落活動のあり方を見直し、国吉城とともに奮闘する佐柿の志を追いしました。

雇用を創出し、100年先まで いきいき暮らせる集落づくり

(一社)佐柿国吉100年プラン推進委員会では、町や佐柿区、更には区民からの業務を請け負っています。これにより、区内に収益事業が生まれ、さまざまな資格や得意分野をもつ佐柿の人材を地域内で生かし、伝統文化の継承と歴史情緒の保存活動を行いつつ、いつまでも輝いて暮らせる集落づくりを行っています。

また、若狭国吉城歴史資料館とも連携し、集落内での雇用創出を図っています。

おかげさまで法人の立ち上げから1

年半が経過し、最近では佐柿区の方々に佐柿国吉100年プラン推進委員会の活動が浸透してきているとともに、隣の和田区や木野区にも活動が広がっていると感じています。

この法人の設立が終わりではなく始まりとして、佐柿をより良い町にしていきたいと思っています。

目指すところは、団体名にもあるように100年先まで持続可能な集落づくりですが、1歩ずつ地道に活動を続けていきたいと思っています。



①②城山参道の修復作業
③規模を拡大し行われた国吉城まつり
④国吉城まつりのステージで行われた福井伝統工芸アイドル「さくらいと」のライブパフォーマンス
⑤国吉城本丸跡から望む佐柿区
⑥⑦⑧(一社)佐柿国吉100年プラン推進委員会が発売しているオリジナルグッズ(難攻不落Tシャツ・ポロシャツ、オリジナルブレンドコーヒー、国吉城キーホルダー)



(一社)佐柿国吉100年プラン推進委員会
代表理事
小畑 陽一さん=佐柿=

地産地消・地域内での循環を生む
合同会社

菅浜わくわく協働体

小学校や保育所の統廃合により、地域に子どもたちの声が聞こえなくなった。この現実には危機感を抱いた菅浜区では、区民が一丸となって集落の活性化に取り組みます。今あるものを磨き、ないものは手作りで作ります。さまざまな形の活性化が菅浜にはありました。



◆法人の設立
合同会社菅浜わくわく協働体は、令和4年10月にコミュニティビジネスを行う組織として設立されました。社員は、令和元年8月に菅浜区の下部組織として発足された菅浜わくわく協働体（任意団体）を主とし、「恵みと暮らし」「賑わいと暮らし」「豊かさ暮らし」「ふるさと暮らし」の4つをコンセプトに集落の活性化に取り組んでいます。

◆恵みと暮らし
恵みと暮らしの分野では、休耕田を活用した「はーぶ&れもん園」の整備・運営やビニールハウスでの野菜の栽培を行っています。

ハーブは約30種類、レモンは約1000本を植樹し、今年約2,000個のレモンが収穫される予定です。

◆また、15年前から行っている炭焼き体験の受け入れを継続。毎年約100人の児童・生徒を受け入れ、森の大切さや炭焼き作業の大変さを伝えていきます。

菅浜わくわくかんには、石窯で焼き上げる本格的なピザが楽しめるカフェ「Pizzeria&CafeWakuWaku」や6カ月から2歳までのお子さんを預けることができる一時保育スペース「キッズルームわくわく」、誰でも利用できるふれあい

◆賑わいと暮らし
賑わいと暮らしの分野では、交流人口の拡大を目的に、トレッキングコース作りやそのコース内に菅浜を一望できる展望台を設置しました。そこには、桜の木を植樹し、将来的には花見をしながら、菅浜が一望できる展望台となる予定です。

◆豊かさ暮らし
豊かさ暮らしの分野では、地域内外の世代間交流を図ることや居場所づくり、絆づくりを目的に「だれでもウェルカム食堂」を開催しています。

だれでもウェルカム食堂は、毎月1回開催され、菅浜区の見学等で事前に申し込みをした方々が訪れています。毎回80食から100食が提供され、高齢者から子どもまで多くの人が食事を通じて交流を深めています。

◆ふるさと茶屋
ふるさと茶屋の分野では、廃園となっていた旧菅浜保育所の建物を改修し、菅浜わくわくかんをオープンしました。

サロン、会議室が整備されています。カフェでは、「はーぶ&れもん園」で収穫されたレモンや菅浜の漁師が獲った地だこ等、地元食材をふんだんに使用したメニューが並び、地産地消を通じた地域の経済循環の拠点となっています。



- ①キッズルームわくわくで遊ぶ子どもたち
- ②はーぶ&れもん園で収穫されたレモン
- ③わくわくかん内に設けられた地産地消コーナー
- ④Pizzeria&CafeWakuWakuのピザ
- ⑤菅浜わくわくかんの入口に設置された手作りの看板
- ⑥はーぶ&れもん園の草取りに精を出す会員たち。高齢者がふれあう場にもなっている
- ⑦ビニールハウスでルッコラを収穫する会員たち。地元の菅浜生協等で販売されている
- ⑧だれでもウェルカム食堂
- ⑨トレッキングコース内に設置された展望台から望む菅浜区

この活動が他の地区のモデルとなるように



合同会社
菅浜わくわく協働体
代表社員
濱野 健治 さん＝菅浜＝

小学校や保育所の統廃合により、地域から子どもたちの声が聞こえなくなったときは、地域の疲弊感を感じましたが、同時に「なんとかせねば」という思いが湧いてきました。

我々の世代が次の世代に何かを残さなければならぬと思い、区民一丸となって活性化に向けた組織(菅浜わくわく協働体)を立ち上げました。

菅浜わくわく協働体の活動を始めるにあたり、1年をかけて区民参加型のワークショップを計8回開催し、菅浜の良いところと悪いところを徹底的に洗い出しました。

そこで出されたものをグループ分けし、良いところを生かし、悪いところを補う活動をするための組織を形成しています。

多い時では約650人だった菅浜の人口は、400人を切り、その内の約45%が高齢者という状況ですが、この活動が他の地区のモデルとなって、町全体の活性化につながってほしいと思っています。



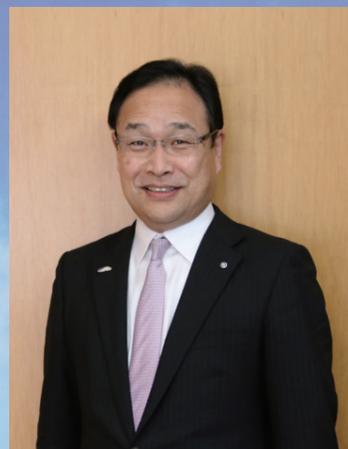
集落元気プラン推進事業 補助金制度概要

町では、令和元年度から各集落の将来にわたる運営計画の策定を支援する集落元気プラン推進事業補助金制度を設けています。

この制度は、集落元気プランの策定から実行までに必要な費用の一部を町が支援するもので、これまでに多くの集落でご活用いただいています。

各集落で共通する課題はありますが、それぞれ異なった課題もあり、それらに幅広く町が支援するため、この補助金制度を設けています。

この制度を利用するには、集落元気プランの策定が前提となります。また、集落元気プランを策定していない集落は、この機会にぜひご検討ください。



美浜町長 戸嶋 秀樹

まちづくりの源泉

集落の元気は 町の元気

◆町と各集落が一丸となって
集落は、住民が互いに支えあうことで、快適な暮らしの実現につながる重要な社会組織です。しかしながら、少子高齢化や人口減少、人間関係の希薄化が進み、近い将来、集落や地域活動の維持さえ憂慮される事態も懸念されています。

◆集落の元気は町の元気。「住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり」の源泉は集落の元気にあります。

集落の実情はそれぞれ異なり、課題もさまざまですが、区民の皆さんが議論を重ね、解決に向けた意識共有を図ることで、地域ならではの集落づくりに立ち上がっていただきたいのです。

町でも、人口減少対策等、行政課題の解決に向けた施策の推進と併せ、住民主体の特色ある集落づくりに力を入れてまいります。

◆集落元気プランを全集落に
集落で議論を重ね策定する「集落元気プラン」は、集落づくりの方向性を示す大切なものです。集落の皆さんの意識共有されたエネルギーは大きく、活性化への大きな力になると考えます。

◆集落の元気は町の元気。「住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり」の源泉は集落の元気にあります。

町では、この5年間、全集落で集落が抱える課題解決に向けた柔軟な補助制度の充実を図る等、これからの支援強化に取り組んでまいります。

◆集落の元気は町の元気。「住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり」の源泉は集落の元気にあります。

集落の実情はそれぞれ異なり、課題もさまざまですが、区民の皆さんが議論を重ね、解決に向けた意識共有を図ることで、地域ならではの集落づくりに立ち上がっていただきたいのです。

町でも、人口減少対策等、行政課題の解決に向けた施策の推進と併せ、住民主体の特色ある集落づくりに力を入れてまいります。



撮影場所：水晶浜海水浴場(竹波)

◆ 事業内容

各集落が策定する集落元気プランに掲げる集落活動や機能維持、コミュニティの形成、課題解決等に向けた取り組みに対して必要な支援を行います。

◆ 補助対象事業

- 1 集落元気プラン策定支援事業
集落の10年先、20年先を見据えた集落づくりに関する事業を定めた将来的なビジョンの策定に係る事業に対して支援します。
- 2 集落元気プラン活動支援事業
集落元気プランに基づき実施するもので、集落の活性化につながると認められる事業に対して支援します。

◆ 補助金の額

- 1 集落元気プラン策定支援事業
補助対象経費の全額 上限：40万円
- 2 集落元気プラン活動支援事業
補助対象経費の5分の4以内
均等割額：35万円(①)
区加入世帯数(※1)に応じた額：1世帯あたり5千円(②)
①均等割額(35万円)+②区加入世帯数から算出(※2)
(複数の集落で連携した場合は、1集落10万円を上限に上乗せします)

※1…基準日は令和2年4月1日
※2…100世帯を超えることに10%ずつ減少

◆ 活用事例

今回の特集では、集落元気プランの策定を1つのきっかけとして法人を設立した佐柿区と菅浜区を紹介しましたが、他の集落でもさまざまな形でこの制度を活用し、活性化に向けた取り組みが進められています。

郷市区

郷市区に伝わる囃子を継承するため、法被を作成しました。



南市区

防災力の強化を図るため、区民全員に防災バッグを配布しました。



興道寺区

区民の憩いの場をつくるため、公園の広場に東屋を整備しました。



↓要救助者を救出するためがれきを撤去する参加者



**地域の安全は自ら守る
郷市区自主防災会総合防災訓練**

9月10日に、郷市区自主防災会総合防災訓練が実施され、区民等約140人が参加しました。参加者は、救護部等7つの活動部に分かれ、大雨による河川の氾濫を想定した訓練に取り組みました。また、大地震により、火災の発生や倒壊した家屋に住民が閉じ込められた想定で、消火活動や要救助者の救出訓練が実施されました。

↓激しくボールを奪い合う選手たち



**ラグビーを通じて町を元気に
山口良治杯美浜町少年ラグビー大会**

8月27日に、第7回山口良治杯美浜町少年ラグビー大会が総合運動公園運動場で開催されました。本大会は、美浜町出身の山口良治さんが、青年育成や地域貢献等を目的に開催しているもので、県内外から24チームが出場しました。選手たちは、ゴールポストが設置された本格的なフィールドではつらつとしたプレーを繰り広げていました。

↓講演する五十嵐裕子氏(中央)と講演を盛り上げたJETSの皆さん



**笑顔の力 夢見る力～JETS全米制覇の奇跡～
JETS顧問五十嵐氏講演会**

8月24日に、県立福井商業高校チアリーダー部JETS顧問の五十嵐裕子氏による講演会がなびあすで開催され、約360人が来場しました。この講演会は、美浜町老人クラブ連合会が世代間交流を目的に開催したもので、五十嵐氏は「夢を叶えるときは感謝の気持ちが溢れてくる」と全米制覇を成し遂げた実体験を交えて話されていました。

↓美浜町文化協会の展示を鑑賞する来場者



**県内の選抜作品が一堂に
第42回福井県市町文協選抜美術展**

9月8日から10日にかけて、第42回福井県市町文協選抜美術展が総合体育館で行われました。この美術展は、(一社)福井県文化協議会と県内の16市町にある文化協会(協議会)が毎年開催しているもので、美浜町での開催は15年ぶりとなりました。会場には、各文化協会から選抜された絵画や書道、写真等の作品が並び、来場者は芸術を肌で感じていました。

↓的に向かって放水する参加者



**災害に備えて地域力を向上
美浜地区自衛消防隊操法大会**

8月27日に、第25回美浜地区自衛消防隊操法大会が美浜消防署消防訓練場で4年ぶりに行われました。本大会は、地域や職域のチームに分かれ、火災発生を想定して消火栓の操法技術を競うものです。出場した17チームの隊員は、迅速な消火の技術を披露し、日頃の練習の成果を発揮していました。大会結果は次のとおりです。(関連第27頁)

	地域の部(7チーム参加)	職域の部(10チーム参加)
優勝	山上区 山上自衛消防隊	関西電力株式会社原子力事業本部 関西電力株式会社 原子力事業本部自衛消防隊
準優勝	日向区 日向自主防災会	(株)カモコン (株)カモコンチーム
3位	けやき台区 けやき台区Bチーム	美浜町議会 美浜町議会チーム
特別賞	佐柿区 佐柿国吉自衛消防隊	美浜町社会福祉協議会 美浜町社協チーム

↓ステージを盛り上げたK'z Heaven



**美浜の夏の一大イベント
夏フェスタ美浜2023**

8月19日に、夏フェスタ美浜2023が総合運動公園で開催されました。会場では、バンドやダンス等のステージ発表や屋外シアター、人力車、スラックライン、ふわふわドーム、屋台やキッチンカーの出店等が行われました。ファイナーレには、打上花火が美浜の夜空を彩り、訪れた観客から歓声があがっていました。

↓赤ちゃんの出世披露



**海上安全と豊漁を祈願
日向 八朔祭**

9月3日に、八朔祭が稲荷神社隣の沖波止広場で4年ぶりに行われました。この祭りは、海上安全と豊漁を祈願するもので、太鼓の奉納等、さまざまな神事が執り行われました。午後には、奉納相撲が行われ、青年相撲や子ども相撲、相撲甚句が祭りを盛り上げ、土俵の土を踏んだ4人の赤ちゃん力士の健やかな成長を祈願しました。

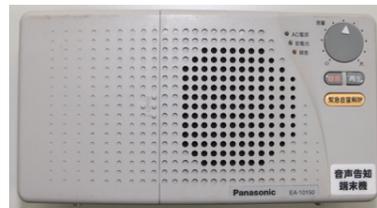


まちウォッチング
atching

北・南・耳地区の旧音声告知受信端末機の回収について(無償)

町では、北地区・南地区・耳地区の使用しなくなった旧音声告知受信端末機の一斉回収を実施します。

町が委託する撤去業者が、令和6年3月までの間に順次撤去・回収作業に伺いますので、業者より連絡があるまでお待ちくださいようお願いいたします。



↑撤去・回収する旧音声告知受信端末機

■撤去・回収時期と内容

対象地区	時期	内容 ※下記以外の作業は、無償で行うことはできません。
北地区 南地区 耳地区	10月～ 令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> 旧音声告知受信端末機 【希望者のみ】旧音声告知受信端末機用同軸ケーブル 【希望者のみ】旧インターネットケーブルモデム用同軸ケーブル <p>※同軸ケーブル(黒いケーブル)は、加入者の所有物であるため、希望者のみ撤去します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁裏配線の場合→壁から出ている部分を撤去(図1) 露出配線の場合→同軸ケーブルのみで配線されている部分までを撤去(図2) <p>※旧音声告知受信端末を同一世帯で2台所有されている方は、2台目も対象になりますので、お持ちの方は撤去業者にお申し出ください。</p>

■撤去・回収の流れ

- STEP 1 撤去業者より対象宅に電話連絡
作業訪問日の確認
- STEP 2 約束した日程に訪問
撤去・回収作業を実施
- STEP 3 作業終了
立合者に確認してもらい完了

※業者が直接金銭等を請求することはありませんので、不審な連絡や訪問者にはご注意ください。
※撤去業者のリストは、今後、広報やホームページ等でお知らせします。

■撤去の範囲(赤字部分)

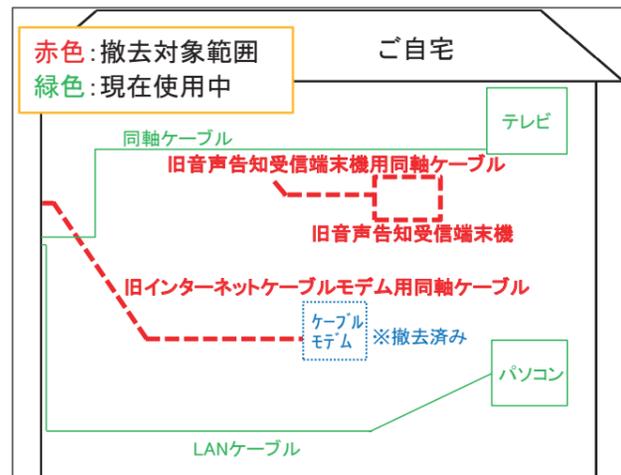
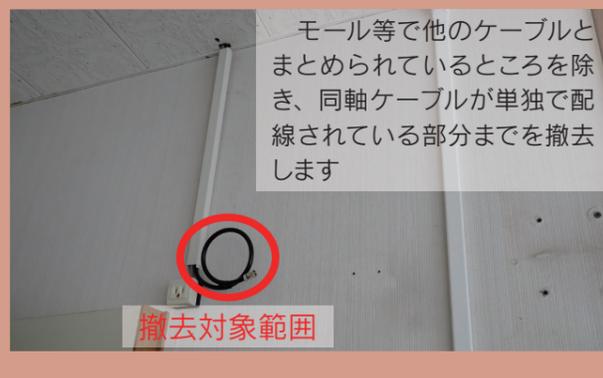


図1(壁裏配線の場合)



図2(露出配線の場合)



※お問い合わせ先 町エネルギー政策課(担当・橋本) ☎ 32-6716

みはまシナプスプロジェクト

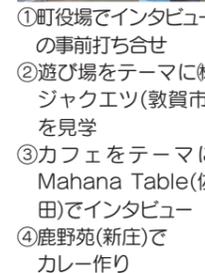
～子どもと大人が交わるまちづくり～

交わり つながり ひらめく
みはまシナプスプロジェクト

町民や応援人口、美浜に関わりたいと思ってくれる人、企業等とのつながりから生まれるアイデアを起点に、多くのにぎわいが創出され、これらのつながりが町に成長をもたらします。これが、みはまシナプスプロジェクトに込められた思いです。

町の中に「交わり、つながり、ひらめく」がいくつも生まれる機会や場をつくっていくことが、このプロジェクトの面白さであり役割だと考えています。

まずは、子どもから大人までの幅広い世代が交わり、つながる楽しみを体感し、その交わりの中で新たな発見や価値観に出会う場をたくさん作っていきます。その楽しみを積み重ねが町ににぎわいを生み出し、最終的には町全体の活性化につながる取り組みを目指します。



現在進行中!
みんなでまちづくりプロジェクト

みはまシナプスプロジェクトは、みはまシナプスプロジェクトの実践の場で、福井大学の「みはまむすびめ」を中心に、町民協力のもと、子どもたちが探究活動や体験を通して、町への愛着を育むプロジェクトです。

参加対象は、町内の小学生、5・6年生や中学生、高校生で、参加者自らが町の課題や魅力を調査し、大人たちと関わりながら課題解決のアクションを起こすことで、美浜町をもっと好きになってもらうことを目的としています。

8月9日・10日には、町内の小学5・6年生や美方高校生が集まり、インタビュー調査と宿泊体験を行いました。

参加者からは、現場を訪れてインタビューができたこと、楽しさや美浜にこんないいところがあるんだという驚きの声が聞かれる。今回は、10月15日に開催を予定していますので、お気軽にご参加ください。

みはま むすびめ



みはま むすびめは、福井大学国際地域学部3年生の5人で結成された団体です。
令和4年6月から美浜のにぎわいづくりに携わり、町内のイベントへの参加やSNSでの情報発信の他、今年度からは「みんなでまちづくりプロジェクト」の運営を行っています。
美浜の人と人をつなぐ「むすびめ」になることを目指して活動していますので、町で見かけたら、ぜひ声をかけてください。



@GROUP_F_MIHAMA

活動紹介

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・山本) ☎ 32-6701

美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和4年9月26日～)

全国原子力発電所 所在市町村協議会が 国に対して要請活動を実施

8月22日に、全国の原子力発電所及び関連施設等が立地する市町村で構成される「全国原子力発電所所在市町村協議会（会長：米澤敦賀市長）が、経済産業省や環境省、国土交通省等に対して要請活動を行いました。

要請活動には、高木毅衆議院議員同行のもと、協議会副会長の戸嶋町長や役員が出席し、エネルギー政策における原子力発電の最大限の活用や核燃料サイクルの早期具体化等を求める要請書を提出しました。

①安全規制・防災対策について

福島第一原子力発電所事故の教訓や最新の知見を踏まえ、原子力施設の安全性及び原子力防災対策の実効性の向上に不断に取り組むとともに、迅速な住民避難に不可欠なインフラの整備・強靱化について、国の責務として財源を確保し、関係省庁が一体となって取り組むこと。

②被災地の復興について

福島第一原子力発電所事故の被災地が復興・再生を果たすまで、国が責任をもって被災地に寄り添った取り組みを継続し、被災地が望む復興

③原子力政策について

像を実現すること。

エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け「GX実現に向けた基本方針」等で示した原子力利用に係る取り組みを早期に具体化すること。

④立地地域対策について

エネルギー政策上の原子力発電の意義を理解し、協力してきた立地地域の持続的かつ自立的な発展が図られるよう、振興に資する諸制度について改善・拡充を図ること。

要請書の提出後、関係省庁と意見交換が行われ、戸嶋町長が次のとおり意見を述べました。

ウクライナ情勢や北朝鮮のミサイル発射等による緊張が高まる中で、安全安心の最大限の確保が我々立地にとつての喫緊の課題である。その上で、まさかの時に被害を最小限に抑える避難道路の多重化・強靱化が重要であると考えているため、地域の実情を勘案し、国の責務として安全安心の最大限の確保に尽力いただきたい。



↑意見を述べる戸嶋町長(左手前から3番目)



↑協議会役員による要請書の提出

今回の要請を受け、国からは「避難道路の重要性については重々認識しており、関係省庁と連携してしっかりと推進できるように取り組む」と前向きで力強い回答をいただいております。

町では、今後も協議会と連携しながら、原子力発電を取り巻く課題や問題に取り組んでいきます。



今秋から2隻体制へ 電池推進遊覧船「Grebe」就航式

お問い合わせ先
町観光誘客課(担当:中瀬)
☎32-6705



↑テープカットをする出席者

8月26日に、美浜町レイクセンターで2隻目となる電池推進遊覧船「Grebe」の就航式を行いました。

Grebeは、船体の大きさが全長18m、幅3.8m、全高2.5mで1隻目のCootと全長・幅は同じで、外観は赤色を採用しています。

船内は、固定式の椅子を備え、柱をなくしたほか、船前方に開閉可能な小窓を設置して、外気を取り入れながら三方五湖遊覧を楽しむことができます。



↑ Grebeの船内

割引一覧 (併用不可)

▼町民割
美浜若狭町民は乗船料が半額
大人・1,980円→980円
小人・990円→495円

▼団体割
10名以上の団体に乗船料を1割引

▼宿泊割
詳細は、美浜町レイクセンターまでお問い合わせください。

今後、久々子湖や水月湖での運航訓練を行い、10月からは2隻体制で営業を行う予定です。

なお、美浜町レイクセンターでは、乗船料の各種割引を行っています。

割引の内容は次のとおりです。



いざ災害！その時どうする？ 北西郷公民館 ふでやま防災講座

お問い合わせ先
町北西郷公民館(担当:高木)
☎32-0317



↑初期消火体験

9月9日に、北西郷公民館で北西郷公民館ふでやま防災講座を開催しました。

同講座は、防災全般に関する地域の総合力(自助・共助、地区の連携・協働)を高めることを目的とし、災害に関する基礎知識や対処方法等を体験・学習しました。

講師は、町の防災担当職員や美浜消防署員が務め、座学と体験学習を行いました。

座学では、防災ハンドブックや津波ハザードマップを用いた説明が行われた他、災害時の避難行動や避難所の設置について説明がありました。



↑煙体験ハウスでの避難体験



↑非常用持出袋の中身の説明

体験学習では、北西郷地区の地区避難所である北西郷公民館に配備されている備蓄品の説明や初期消火体験、煙体験ハウスで煙が立ち込める中での避難体験等が行われました。

参加者約30名は、講座を通して、いざという時の災害に備えていました。

美浜町役場
〒919-1192 美浜町郷市 25-25
☎ 0770-32-1111(代表)
FAX 0770-32-1115(代表)
HP <https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/>

お知らせ

10月16日から22日は

行政相談週間です

毎日の暮らしの中で、困っていることや要望したいこと、どこに相談すればよいか分からないこと等はありませんか。

行政相談では、相談内容に応じた助言や専門機関のご案内、関係機関への改善の働きかけを行っています。

行政相談委員は、定例相談の他、行政相談週間に巡回相談やセンターとの協働で暮らし行政特設相談所を開催しています。

相談は無料で、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

行政相談所

行政相談委員・日時

- ・石丸好通氏
10月3日(火)午後1時～3時
- ・渡辺直史氏
10月10日(火)午後1時～3時

ごみを持ち込む曜日の分散にご協力ください

敦賀市清掃センターへのごみの持ち込みは、曜日により待ち時間が1時間以上になる場合があります。

比較的空いている曜日は、待ち時間も少なく持ち込みが可能です。ごみを持ち込む曜日の分散に、ご協力をお願いします。

【受付待ちの状況をリアルタイムで配信】

清掃センターのごみ持ち込みの待ち状況をお知らせするため、リアルタイムで映像を配信しています。

ごみ持ち込みの際は、混雑状況の確認にご活用ください。

◆視聴方法

動画配信サイト「You Tube」で「敦賀市清掃センター」と検索してください。

チャンネル登録をすると、検索をすることなく視聴できます。

※設備の維持管理のため、配信を一時休止する場合があります。



配信はこちら

混雑状況の目安

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前	混み	混み	空き	空き	空き	混み	混み	混み
午後	空き	空き	空き	空き	空き	休業	休業	休業

※5月の連休明けや12月中旬から年末等は特に混み合います。

※第3日曜日は終日休業です。休業日の詳細は、ホームページをご覧ください。

【清掃センター内でのごみ収集車優先通行について】

清掃センター内では、ごみ収集車の受け入れを優先しており、ごみ持ち込みの順番待ちをしている皆さんをごみ収集車が追い越す場合があります。

ごみ収集車は、ごみステーションに出されたごみからの臭気発生や動物による散乱を防ぐため、なるべく早くごみを収集し、清掃センターへ運搬しています。

また、ごみ収集車の台数には限りがあるため、ゴミステーションと清掃センターを何度も往復しています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・志賀) ☎32-6703
敦賀市清掃センター ☎21-1153

新型コロナワクチンオミクロン株 XBB 対応ワクチンの接種を開始します



新型コロナワクチン(オミクロン株 XBB.1.5 対応 1 価ワクチン)の予約受付を開始します。

接種券が届いた方は、接種対象者となりますので、接種可能日時や接種場所を確認し、ご予約ください。



■対象者(※1)

2 回以上の接種を終了した 12 歳以上の方(乳幼児、小児接種は該当者に案内します)

■ワクチンの種類

オミクロン株 XBB.1.5 対応 1 価ワクチン(ファイザー社(5 歳以上)またはモデルナ社(12 歳以上))

■接種間隔 前回接種日から 3 カ月以上

■費用 無料

■予約方法(※2)

Web もしくは
コールセンター(32-0320)



Web予約はこちら

■接種会場

接種券に同封するチラシまたは町ホームページをご覧ください。

■その他

●接種の際は、今回送付する新しい「接種券一体型予診票(オレンジ色)」をご使用ください。お手元にあるこれまでの接種券は、未使用でも今回の接種には使用できません。

●接種当日は、接種券に同封されているすべての書類と本人確認書類をご持参ください。

●インフルエンザワクチンとの同時接種は可能ですが、その他のワクチン(高齢者肺炎球菌ワクチン等)との接種間隔は2週間空ける必要があります。

※1 接種券を順次発送します。申請は不要です。

※2 接種券がお手元に届き次第、予約が可能です。

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・幸光) ☎32-6704

- 場所 はあとびあ
- ▼一日合同行政相談所開設日
- 日時 10月24日(火)
午後1時～4時
- 場所 プラザ萬象
(敦賀市東洋町1-1)
- 問 福井行政監視行政相談センター
☎0776-24-0403

運転免許自主返納臨時出張所をご利用ください

運転免許自主返納手続きが行える臨時出張所を次のとおり開設します。

- 日時 10月11日(水)
午前9時～午後1時

●会場 町役場 町民プラザ

※免許証を返納した後は、車の運転ができません。送迎やチャイソコみはま(デマンドバス)をご利用の上、お越しください。

●問 町住民環境課担当・田辺憲虎

敦賀警察署交通課 ☎25-0110
☎32-6703

下水道への早期接続を

お願いします

下水道は、家庭で使用した汚水を処理し、浄化した水を放流することで、川や海での悪臭や害虫・伝染病の発生等を防ぎ、美しい自然環境を保つことを目的に整備しています。また、下水道に接続されていない方は、快適な生活環境づくりのために、下水道への早期接続をお願いします。

▼宅内排水設備工事の進め方

①町の指定を受けた指定工事店に見積りを依頼し、内容等を十分検討の上、指定工事店と契約してください。

②町へ「排水設備等確認申請書」を提出してください。(指定工事店が代行します)

③工事完了後、町へ「使用開始届」を提出してください。(指定工事店が代行します)

※詳細は、町下水道課までお問い合わせください。

●問 町上下水道課(担当・金田)

☎32-1341

令和5年度美浜町戦没者追悼式を開催します

開催します

町では、戦没者の追悼と平和社会を次世代へ継承するため、戦没者追悼式を開催します。

●日時 10月3日(火)午前10時～

●会場 はあとびあ

※マスク着用等の感染予防対策は、各自で判断ください。

※発熱や咳、全身の倦怠感等の症状がある場合は、参列をお控えください。

●問 町健康福祉課(担当・津原)

☎32-6704

中退共は国の退職金制度!

- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成
- 自治体等独自の掛金補助
- 外部積立型で、管理も簡単
- ◎パートさんも家族従業員もご加入いただけます

詳しくはホームページをご覧ください

中退共 検索

ご存知ですか?
「中退共」の
退職金制度

お気軽にお問い合わせください
(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
☎03(六九〇七)一三三四
☎03(五九五五)八二二一

令和5年度美浜町防災訓練(東地区)を実施します

町では、大雨による土砂災害等を想定し、地域防災力の強化と自主防災意識の高揚を図るため、東地区を対象に防災訓練を実施します。

災害に強いまちづくりの推進のため、皆様のご協力をお願いします。

日時 10月1日(日) 午前7時50分～10時30分
訓練会場 美浜東小学校、美浜町エネルギー環境教育体験館さいばす
対象地区 東地区(坂尻、山上、太田、佐田、北田、菅浜、竹波、丹生、けやき台、美し野)

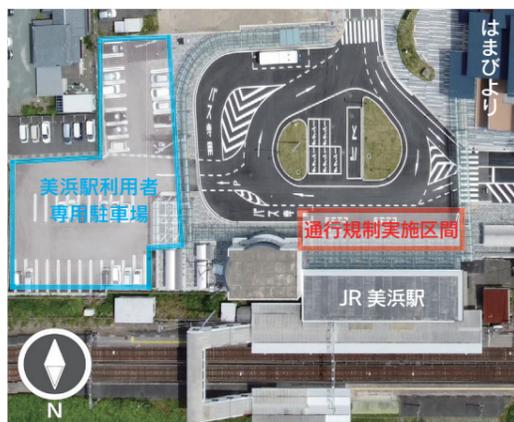


↑救出訓練

※当日は、訓練として戸別受信機及び防災アプリ等により避難指示等の配信を行います。
 ※当日午前8時55分頃に、美浜東小学校上空で防災ヘリによる救出訓練を実施します。周辺の方には、騒音等のご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

※お問い合わせ先 町エネルギー政策課 防災・原子力対策室(担当・三田) ☎32-6716

問 町土木建築課(担当・増田)
☎32-6707



**美浜駅前ロータリー一部区間に
おける通行規制の実施について**
 美浜駅前シエルトに雨どい等を設置する工事の実施に伴い、美浜駅前広場ロータリーの一部区間において通行規制を行います。
 利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしく
 お願いします。
 なお、ロータリー内は一般車の駐車はできません。駐車される際はロータリー東側の美浜駅利用者専用駐車場をご利用ください。
日時
 9月25日(月)～10月31日(火)
 (工事の進捗により変更となる場合がございます。)

福井県最低賃金改正のお知らせ
 10月1日から、県内で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。
時間額 931円
問 福井労働局労働基準部賃金室
 ☎0776-22-2691

**令和5年度電力・ガス・食料品等
価格高騰重点支援給付金の
ご案内(再周知)**

町では、電力・ガス・食料品等の価格が高騰する中、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯の支援を行うため、給付金を支給しています。
 申請期限が迫っていますので、まだ申請がお済みでない対象者は、期限までに申請してください。
 なお、給付金の詳細は、広報みはま7月号または町ホームページをご覧ください。
ホームページ記事ID
 0010259(↑記事ID検索
 に入力してください)
金額 1世帯当たり3万円
申請期限 10月31日(火)
問 町健康福祉課(担当・田村)
 ☎32-6704



問 町こども未来課(担当・森下)
☎32-6713

**令和6年4月入園の
保育園新規入園児童の
申し込みを開始します**
受付期間
 10月2日(月)～24日(火)
申込方法
 申込用紙は、9月27日(水)より各保育園で受け取れます。必要事項を記載の上、入園を希望する保育園に提出してください。
 ※入園には審査及び施設定員があるため、条件によっては受け入れできない場合があります。
 ※保育園職員の配置検討のため、令和6年5月以降に途中入園を予定している方は、各園へ申し出てください。なお、この申し出により令和6年度の途中入園が約束されるものではありません。

参加
無料

スマートフォン講習会を開催します



スマートフォンの基本的な使い方やさまざまな行政手続きの方法等、デジタル初心者でも安心してスマートフォンの活用方法を学べる講習会です。
 ご自身で受講したい講座を自由に選択できます。

【内容】

- 初級講座
 - ①ボタンの操作方法、カメラの使い方
 - ②アプリのインストール、地図アプリの利用方法
- 中級講座
 - ①インターネット、メールの利用方法
 - ②SNS、コミュニケーションアプリの利用方法
- 応用講座
 - ①マイナンバーカードの申請方法
 - ②マイナポータルの活用方法
 - ③e-Taxの利用方法
 - ④全国版救急受診アプリ(Q助)の利用方法

【開催場所・日時】

●生涯学習センターなびあす(美浜町郷市29-3) ▶11月7日(火) 午後1時～2時 (初級講座①) 午後2時30分～3時30分 (初級講座②) ▶11月14日(火) 午後1時～2時 (中級講座①) 午後2時30分～3時30分 (中級講座②) ▶11月16日(木) 午前9時30分～10時30分 (初級講座①) 午前11時～正午 (初級講座②) 午後1時30分～2時30分 (中級講座①) 午後3時～4時 (中級講座②)	▶11月21日(火) 午後1時～2時 (中級講座①) 午後2時30分～3時30分 (中級講座②) ▶11月24日(金) 午前9時30分～10時30分 (中級講座①) 午前11時～正午 (中級講座②) 午後1時30分～2時30分 (応用講座①) 午後3時～4時 (応用講座②) ▶11月29日(水) 午前9時30分～10時30分 (中級講座①) 午前11時～正午 (中級講座②) 午後1時30分～2時30分 (応用講座③) 午後3時～4時 (応用講座④)
---	---

●佐田公民館(美浜町佐田56-24-2) ▶11月1日(水) 午前9時30分～10時30分 (初級講座①) 午前11時～正午 (初級講座②) 午後1時30分～2時30分 (中級講座①) 午後3時～4時 (中級講座②)

●南西郷公民館(美浜町金山14-1) ▶11月9日(木) 午前9時30分～10時30分 (初級講座①) 午前11時～正午 (初級講座②) 午後1時30分～2時30分 (初級講座①) 午後3時～4時 (初級講座②)

●耳公民館(美浜町河原市8-8) ▶11月3日(金・祝) 午前9時30分～10時30分 (初級講座①) 午前11時～正午 (初級講座②) 午後1時30分～2時30分 (初級講座①) 午後3時～4時 (初級講座②)

●北西郷公民館(美浜町笹田15-1) ▶11月15日(水) 午前9時30分～10時30分 (初級講座①) 午前11時～正午 (初級講座②) 午後1時30分～2時30分 (中級講座①) 午後3時～4時 (中級講座②)
--

【定員】 各講座先着10名
 ※当日は、貸し出し用のスマートフォンを用意しておりますが、数に限りがありますので、ご自身のスマートフォンをご持参ください。
 ※参加の申し込みは、希望する会場にお問い合わせください。(佐田公民館は山東公民館にお問い合わせください。)

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・内藤) ☎32-6701
 ※申し込み先 町生涯学習推進課(担当・田辺) ☎32-1212
 町山東公民館 ☎38-1001・町南西郷公民館 ☎32-2654
 町耳公民館 ☎32-0027・町北西郷公民館 ☎32-0317

特産果樹を植えませんか？ 美浜町特産果樹産地育成事業 申請者募集！

町では、特産果樹の産地づくりを推進するため、果樹苗購入費の一部を支援します。農家の方だけではなく、庭先の空きスペース等に植栽される方も大歓迎です。ぜひ、お申し込みください。



【対象者】 町内在住の方

【本数制限】 基本制限なし

【補助内容】 町が指定する果樹(※) 苗木購入費の1/2

※レモン、イチジク、ブルーベリー、銀杏

【補助要件】 ①「果樹栽培研修会」への参加(苗引渡日に1回実施)
②町果樹生産組合の会員となる(会議等への出席は原則ありません)
③実った果実はできるだけ直売所等へ出品(任意)

【申込期限】 10月12日(木)

【申込方法】

下記より申込用紙を入手の上、提出してください。
○美浜町農業サポートセンター
○町産業政策課窓口
※町ホームページからもダウンロードできます。

【引渡日】

○イチジク・ブルーベリー・銀杏…11月頃
○レモン…3月頃
苗引渡日は、苗入荷日が決まり次第お知らせ(通知)します。苗引渡当日は、果樹栽培研修会を受講した後、苗をお渡しします。
※果樹栽培研修会に出席できない場合は、研修会当日を含め、平日3日以内に苗を引き取りに来てください。(配達はありません)

※お問い合わせ先 町農業サポートセンター ☎32-6718
町産業政策課(担当・浜野) ☎32-6706

REINAN国際交流のつどい 2023が開催されます

嶺南地域最大の国際交流のお祭りです。今年も敦賀市で開催します。あなたも異文化に触れて、気軽に国際交流してみませんか。
今年も、来年春の北陸新幹線敦賀開業を記念した関連コーナーもあります。

●日時 10月29日(日) 午前10時～午後3時

●会場 プラザ萬象 (敦賀市東洋町1-1)

●費用 無料(飲食コーナーは有料)

●内容 外国人による日本語スピーチや民族衣装・着物等の試着、日本の昔遊び等の体験コーナー、新幹線開業関連コーナー、外国の踊り等のパフォーマンス披露、飲食コーナー等

●その他 前日の準備や当日の運営をお手伝いしていただけるボランティアを募集しています。

●問 REINAN国際交流のつどい 実行委員会 ☎21-3455

第2回みはま土曜歴史講座を開催します

○美浜町の文化財めぐり

●日時 10月22日(日) 午前8時30分～11時30分

●集合・解散 町役場

●講師 小牧 拓矢氏 (町歴史文化館学芸員)

●内容 町内をバスで巡り、めったに見られない仏像を中心に見学します。

●問 町歴史文化館(担当・小牧) ☎32-0027

教室・講座・説明会等

もの忘れ相談会を開催します

●日時 10月6日(金) 午後2時～3時

●会場 町役場101会議室

●対象 町内在住で、物忘れや認知症について不安のある人またはその家族

●費用 無料

●定員 2名(要事前申し込み)

●申込 9月29日(金)までにお申し込みください。

●問 町健康福祉課(担当・山本佳代子) ☎32-6704

- 町制70周年記念 - つながるフェスタ(仮称)を開催します

「なびあす」と「はまびより」をつなぐことで生まれる新たな可能性に着目し、人やモノ、コト等、町の特産や魅力、商店、サービスを掛け合わせ、つなげることで更なる活性化へのきっかけとなるイベントを開催します。



イベント・行事

第1弾 なびあすアートフェスタ2023

▼日時/内容

10月28日(土) オープニングイベント
10月29日(日) 午後2時～ なびあすファンクラブ開設記念「lori コンサート」
10月28日(土)～11月5日(日) 展示部門
11月3日(金・祝)～5日(日) 体験部門、ステージ発表

コラボイベント 北陸新幹線敦賀開業記念×みはまシナプスプロジェクト

▼日時/内容

11月3日(金・祝)・4日(土) 北陸新幹線PRコーナー(ミニトレイン運行等)、子どもの駄菓子屋、にぎわいロード沿いへの出店、日本最大級のまちおこしイベント「B-1 グランプリ」ゴールドグランプリ獲得団体の出店

第2弾 はまなびフェスタ2023(仮称)

▼日時/内容

11月11日(土)・12日(日) 各種団体出店・販売、キッチンカー等

コラボイベント なびゲーランド

▼日時/内容

11月11日(土)・12日(日) eスポーツ体験、ボードゲーム、謎解き等

●場 所 町生涯学習センターなびあす～道の駅若狭美浜はまびより ※イベントの詳細は、次号の広報みはまや町ホームページ等でお知らせします。

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・藤田) ☎32-6701・町生涯学習推進課(担当・萩原) ☎32-1212
町産業政策課(担当・畠中) ☎32-6706

地域運動者講習会 が開催されます

令和5年度地域運動者講習会が、次の日程で開催されます。

●日時 10月31日(火)

①午後3時～4時
②午後7時～8時

●会場 はあとびあ

●問 敦賀交通安全協会 ☎25-6386

タクシー業界説明会が 開催されます

北陸新幹線敦賀開業が間近に迫り、注目されているタクシー運転手。説明会では、タクシー業界の魅力をお伝えしますので、就職・転職をお考えの方や関心のある方は、ぜひ、ご来場ください。

●日時 10月16日(月) 午後1時30分～2時30分

●会場 ハローワーク敦賀

●参加事業所 サンキュー・タクシー、敦賀第一交通、敦賀海陸運輸、敦賀タクシー、美浜自動車

●内容 業界説明、各社説明、質疑、個別面談

●問 県交通まちづくり課 ☎0776-20-0774

脳いきいき教室を開催します

●日時 10月10日(火)／11月14日(火) 午後1時30分～3時

●会場 はあとびあ

●対象 どなたでも(町民限定)

●内容 認知症を理解し、予防しましょう。

●講師 寺川 智浩氏(敦賀温泉病院嶺南認知症疾患医療センター言語療法士)

●費用 無料

●申込 左記まで申し込みください。

司法書士無料法律相談会を開催します

毎年10月1日は「法の日」と定められています。これを記念し、福井県司法書士会では、無料相談会を実施します。

●日時 10月7日(土) 午前10時～午後4時

●会場 県内8カ所

●費用 無料

●申込 予約が必要です。

●問 福井県司法書士会 ☎0776-43-0601

美浜町子ども・子育て

サポーターセンターの催しを
お知らせします

- さくらんぼひろば
- ◆秋の遠足
 - 日時 10月10日(火)
 - 場所 午前10時～11時
 - 対象 西誓寺(上野)
 - 定員 町内の在宅児親子 10組
 - 内容 上野の西誓寺周辺を散歩します。
 - 申込 9月25日(月)～
 - 申込 10月6日(金)
- ◆ちびっこハロウィン
 - 日時 10月31日(火)
 - 場所 午前10時30分～11時15分
 - 対象 はあとびあ
 - 定員 町内の在宅児親子 30組
 - 内容 手作りおもちゃを作ったり、音楽にあわせて踊ったりして、ハロウィンの雰囲気を楽しみましょう。
 - 申込 10月10日(火)～
 - 申込 10月27日(金)

○育児講座

◆子どもの急病時の対応について

- 日時 10月14日(土)
- 場所 午前10時～11時
- 対象 はあとびあ
- 定員 町内の在宅児親子 20組
- 講師 明田隼機氏 (市立敦賀病院小児科医師)
- 内容 子どもの急病時にどう対応すれば良いのかをお聞きします。
- 申込 9月25日(月)～
- 申込 10月11日(水)
- ◆絵本のある子育て
 - 日時 10月17日(火)
 - 場所 午前10時15分～11時15分
 - 対象 はあとびあ
 - 定員 町内の在宅児親子 10組
 - 講師 道坂由美子氏 宮田志保乃氏 (家庭教育アドバイザー)
 - 内容 年齢に合った絵本の紹介や読み聞かせのコツについてお話を聞きます。
 - 申込 9月25日(月)～
 - 申込 10月11日(水)

園芸LABOの丘の催しを
お知らせします

- ◆園芸LABOの丘
 - 日時 10月29日(日)
 - 場所 午前10時～午後3時
 - 内容 大人から子どもまでが楽しめる秋を感じるイベントを開催します。収穫体験や園芸講座等の園芸LABOでお馴染みの体験講座や園内散策クイズラリー、木工工作等の企画が満載です。皆さんのお越しをお待ちしています。
 - 申込 10月29日(日)
 - 申込 10月29日(日)
- ◆五穀米と彩色野菜の和風ランチづくり
 - 日時 10月7日(土)・9日(月・祝)
 - 場所 午前10時～正午
 - 費用 500円(1人)
 - 定員 各日8組(最大32名)
 - 申込 予約が必要です。
 - 申込 予約が必要です。

◆コキアの秋色スワッグづくり

- 日時 10月28日(土)
- 場所 午前10時～正午
- 費用 1,000円
- 定員 10名
- 申込 予約が必要です。
- 申込 9月に引き続き10月も毎週土曜日にトマトの収穫体験(午前10時～11時30分・各日先着10名)を実施しています。
- 他にも収穫体験等、さまざまな体験メニューを用意しています。詳細は、ホームページをご覧ください。
- なお、予約が必要となる体験メニューは、開催日の1週間前までに、FAX(47-6163)またはメール(engai-ken@pref.fukui.lg.jp)で申し込みください。
- 福井県園芸体験施設 (園芸LABOの丘)
- 電話 47-6162

昔話とよもやま (138)

歴史と歩む印刷

美浜町歴史文化館では、山東公民館菅浜分館(旧菅浜小学校)に所在する若狭路文化研究所協力のもと、印刷技術とその歴史を紹介する「印刷と歴史展」を開催しています。

さて、現代社会では日々数えきれない印刷物が発行され、私たちの生活に欠かせない要素となっています。印刷の歴史を紐解くと、情報を保存・発信する重要なメディアとして印刷物が利用され、印刷技術の発展が社会に影響を与えてきたことは、遙か昔から現在まで変わっていないことが分かります。

紙への印刷が始まったのは、7世紀中国でのことであり、木の板等を版として文字や図様を彫り、版画の要領で写し取りました。古くは重要な経

典の複写に用いられていた技術です。8世紀の日本に伝来して以降、木版による印刷が、長らく印刷の主流でした。特に江戸時代では書籍が数多く発行され、浮世絵が人気を博す等、文化の土台となりました。しかし、木版を作るには技術と時間が必要であることが弱点でした。

この問題を解決したのが、1文字毎の型である活字を集めて版を作る活版印刷です。11世紀中国の工人畢昇が発明したとされるこの方法では、1字ずつ彫らずとも、活字を組み替えるだけでさまざまな文章を作れ、印刷の効率が格段に向上しました。

しかし、日本では文字種の多さや文字を区切らず文章を著す慣習と活字の相性が悪く、本格的な導入が幕末まで遅れることになりました。明治政府が近代化の一環として奨励したことで、一躍活版印刷は主流の印刷となり、日刊新聞等の新しいメディアが生まれるきっかけにもなりました。全国で活版印刷所が設立され、美浜町にも大正期河原市で営業していた印刷所の写真が残されています。

また、コンニャク版やガリ版を使った簡易的な印刷法が普及し、少部数の印刷を手軽に行うことが可能と

なったのも明治時代のことでした。以後、会社や省庁の書類や学校のお知らせ等が、手作業で印刷されるようになったのです。

このように先人達の技が生み出した数多くの印刷物は、貴重なメディアとして社会の形に影響を及ぼしてきました。また一方で、印刷物はその変遷を含めて、時々の歴史文化を後世に伝える貴重な記録としての役割を担ってきました。

「印刷と歴史展」では、木版等の印刷に用いられた資料と印刷された資料を併せて展示しています。急速に技術が高度化している今、改めて往時の印刷と歴史に及ぼした影響への関心が深まれば幸いです。

ぜひ、10月29日までの会期中にご来館ください。(美浜町歴史文化館)



↑高木活版所(河原市 大正7年 個人所蔵)

文芸欄

俳句

水無月俳句会

朝露に命を繋ぐ野辺の花

高木 キヨ子(新庄)

縁側に虫の音を聞く夜更けかな

高木 キヨ子(新庄)

わが夢の何処へ続く夜の長し

山田 世志男(佐 柿)

朝夕の風は秋へと吹きつゝのる

山田 世志男(佐 柿)

亀の吐く長命水や秋隣

政岡 弘子(久々子)

蕉翁も仰ぎし月よ気比の杜

楠 充代(佐 田)

古民家のいろりに時の止まる秋

楠 充代(佐 田)

町内の「こどものあそび場」について紹介します

町では、子ども・子育て支援の1つとして、町内の既存施設を活用し、子どもがのびのびと遊べる環境づくりに取り組んでいます。今回は「こどものあそび場」に関する整備内容について紹介します。

■ あそび場の情報を発信！

子育てに関する情報を美浜町子育て応援サイト「すくすく美浜っ子」で紹介しています。

サイト内の「あそび場情報」では、子ども・子育てサポートセンターやはあつあ等のあそび場の開放日や開放時間等の情報を掲載しています。

適宜更新していきますので、ぜひご活用ください。



■ あそび場のおもちゃ等を整備！

町内のあそび場を子どもたちが楽しめる場所にするため、新たにおもちゃ等を購入しました。各あそび場の詳細は、あそび場情報サイトで紹介していますので、遊ぶ場所を選ぶ際の参考にしてください。



※お問い合わせ先
町子ども未来課(担当・上道) ☎32-6713

ウォーキングをして汗を流しましょう!



涼しくなるこの時期は、ウォーキングをして気持ちの良い汗を流しましょう。

■ ウォーキングの効果

- ①生活習慣病の予防と改善
肥満や高血圧、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病の予防や改善につながります。
- ②身体機能や筋力の維持
ウォーキングを継続することで、体力や筋力を維持でき、疲れにくい体質や免疫力向上にもつながります。
- ③精神面の安定
ウォーキングを一定時間続けることで、リラックスさせるセロトニンという神経伝達物質が分泌されます。

■ ウォーキングの消費カロリー

1分間に100歩のペース(早歩き)で約30分歩くと、約100Kcalを消費します。
ダイエットには、脂肪燃焼効果のあるウォーキングと健康的な食生活を一緒に取り組むことが効果的です。

■ ウォーキングを始める前にウォーミングアップを

- ①体温を高めることにより筋肉がほぐれ、スムーズに体を動かすことができ、けがを予防します。
 - ②軽い運動やストレッチから始めることで、徐々に心拍数や呼吸数が増え、心臓や肺への負担を軽減します。
- ※ウォーミングアップはすべての運動に必要です。



健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。

※お問い合わせ先
町健康福祉課(担当・中西)
☎32-6704

【100Kcalの食べ物】
◎ごはん軽く1/2杯
◎せんべい2枚
◎ポテトチップス(60g)1/3袋
◎ビール約230ml

地域あいあいポイント事業 ポイント交換(前期分)のご案内

4月から9月の活動で貯まったポイントの交換時期が近づいています。ポイントの交換をお考えの方は、手続きをお願いします。

なお、今回(前期)交換申請をされない方は、次回(後期)ポイント交換をしていただきますようお願いいたします。



■ 交換申請期間

10月1日(日)~31日(火)

■ 交換方法

【手帳をお持ちの方】

ポイント交換申請書を町健康福祉課まで提出してください。後日、町から引換券が届き、活動奨励品と交換ができます。

【アプリをお持ちの方】

アプリで交換手続きができます。各店舗でアプリの引換券画面を掲示し、活動奨励品と交換してください。

※交換申請をされた方は、11月15日以降に活動奨励品と引き換えが可能となります。

あいあいポイントアプリをご利用ください

あいあいポイントアプリでは、手帳を使わずにスマートフォンのアプリ内でポイントが貯められます。

また、町主催の健康教室等、健康に関するお知らせを随時受け取れます。

皆さんの健康づくりに役立つあいあいポイントアプリをぜひ、ご活用ください。

アプリの新規登録をご希望の方は、町健康福祉課までお問い合わせください。

※アプリを利用できるのは、町内在住の60歳以上の方となります。



※お問い合わせ先
町健康福祉課 地域包括支援センター(担当・植中) ☎32-6704



ハートフルウォークを開催します! ~目指せ!家康ゆかりの地~



- 日時 11月5日(日) 午前9時~(受付:午前8時30分~)
- 発着点 健康楽膳拠点施設こるば
- コース 金山・久保方面に向かいます。途中、家康ゆかりの土井山についての歴史を聞き、のどかな田園風景を見ながらウォーキングします。
- 申込期間 10月2日(月)~20日(金)
- 申込方法 申込用紙は、10月2日に新聞折り込みします。必要事項を記入の上、南西郷公民館(☎32-2654)または町健康福祉課(☎32-6704)に提出してください。FAXや電話での申し込みも可能です。

慶弔

8/1～8/31受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
森下 陽菜	女	達夫・美穂	久々子
櫻井 歩	男	征太郎・美穂	佐田
小堀 蒼依	女	剛宏・留実	山上
岸本 真奈	女	穂高・優月	佐田

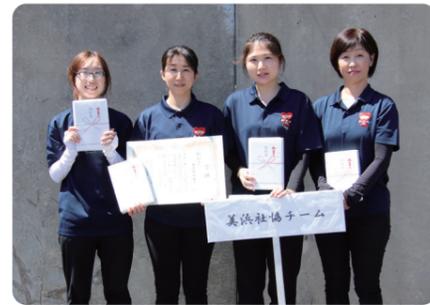
◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
武長 ヒサ子	五十谷	95	武長 俊克
大井 フサ子	新庄	93	大井 正志
吉田 茂	佐田	88	吉田 鈴子
大塩 五一	五十谷	89	大塩 伸一
山岸 光	丹生	85	山岸 一枝
堀 つる枝	河原市	86	堀 一志
三好 トヨ	郷市	92	三好 万里子
田波 不二江	竹波	97	田波 貴
山口 一彦	日向	75	山口 知津子
高橋 光夫	日向	88	高橋 貴典
辻 秀治	佐田	69	橋本 ひろ子
井上 喜代子	佐田	90	澤井 繁明
高木 よし子	新庄	96	玉井 佐知子

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

町人^{まちびと}さん

8月27日に行われた第25回美浜地区自衛消防隊操法大会で、消火栓操法・職域の部に出場し、美浜消防団長特別賞を受賞した美浜町社会福祉協議会 美浜町社協チームの皆さん



(関連第10頁)

(左から)
前美里さん
中村紀子さん
高木涼子さん
久保香さん

*特別賞を受賞した今の気持ちを教えてください。
本番では、練習の成果を発揮することができ、特別賞をいただくことができました。
チームのみんなと楽しく操法を学ぶことができ、とてもいい機会となりました。来年は優勝します！

人口の動き

人口総数	8,868人(-17)
男	4,352人(-12)
女	4,516人(-5)
世帯数	3,626世帯(-2)
出生	4人 死亡 16人
転入	15人 転出 20人
みはま応援クルー(※)	256人(±0)
マイナンバーカード交付率	87.6%
令和5年9月1日現在※()は前月比	

※町が公認登録する「町外に住みながらも本町を愛し、応援して下さる方」のこと。



町の情報や応援クルーの情報はこちら！

HAPPY BIRTH DAY

はじめてバースデー

10月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

「はじめてバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月に送付しています。ぜひ、ご応募ください。



10.3
加藤 昶朗くん(佐田)
父・大智さん
母・亜沙美さん
1歳になったよ！
いろんなことに挑戦して大きくなってるよ！



10.20
中村 向陽くん(佐田)
父・俊大さん
母・美春さん
パパママ大好き！
こんなに大きくなったよ！



10.31
平城 颯真くん(金山)
父・慎太郎さん
母・有香さん
ハイハイ選手権は負けないよ！
階段も登れるよ！

広報クイズ

広報みはま10月号を読んで、①～④番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「つ」や「ゆ」、「・」、「が」、等も一文字とします。「●」の文字を①番から順に並べると、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①○○○○●○○ワクチンオミクロン株XBB対応
ワクチンの接種を実施します
- ②スマートフォン○○○○●○○を開催します
- ③○○を○○○○●○○の分散にご協力ください
- ④●○○○○○○○○自主返納臨時出張所をご利用
ください

●応募方法

はがきに答え、住所、氏名(広報を読んだ感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはま広報クイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp
【二次元コード】



締め切りは、10月10日(火)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

●9月号の答え おつきみ
●応募者総数は11人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

■くらしのカレンダー■

令和5年10月

1 (日)	7:50～令和5年度美浜町防災訓練(東地区) 9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)		8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・大腸がん検診・肝炎検査] (山東公民館菅浜分館) 13:00～がん検診[大腸・子宮・乳] (山東公民館菅浜分館)
2 (月)		17 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)
3 (火)	10:00～戦没者追悼式(はあとびあ) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	18 (水)	9:30～保育園開放(おおなみ保育園) 古紙 (東地区)
4 (水)		19 (木)	
5 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	20 (金)	
6 (金)		21 (土)	
7 (土)		22 (日)	9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)
8 (日)	9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)	23 (月)	9:30～保育園開放(みずうみ保育園)
9 (月)	スポーツの日	24 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
10 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)	25 (水)	
11 (水)	古紙 (北・南地区)	26 (木)	10:00～2歳児教室(はあとびあ) 13:00～3歳児健診 (子ども・子育てサポートセンター)
12 (木)	10:00～6～8か月児教室(はあとびあ) 13:30～育児学級(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	27 (金)	
13 (金)	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園)	28 (土)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・大腸がん検診・肝炎検査] (はあとびあ) 13:00～動脈硬化予防健診・がん検診[大腸・子宮・乳がん検診] (はあとびあ)
14 (土)		29 (日)	9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)
15 (日)	第36回美浜町民レガッタ(県立久々子湖漕艇場) 9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)	30 (月)	
16 (月)		31 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 15:00～地域運転者講習会(はあとびあ) 19:00～地域運転者講習会(はあとびあ)

10月の納税 [納期限 10/31(火)]※納付は口座振替が便利です。
固定資産税(3期)、国民健康保険税(4期)

- イベント ● 健康診査・検診 ● 子ども行事
- 行事の予定は、9月14日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
-  網かけの日は、役場はお休みです。
- **古紙** は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
- ごみの休日受入は、第3日曜日以外の土日祝日(5月3日～5日、12月31日～1月3日を除く)の午前8時30分～正午です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

美浜町防災アプリのダウンロードをお願いします

美浜町防災アプリでは、防災情報や停電情報、おくやみ等の生活に関わる緊急情報等をお知らせしています。ぜひ、ダウンロードの上、ご利用ください。



こんにちは
まちづくり推進課です。

今月号では、集落の活性化に取り組む2つの団体を紹介しました。

取材をする中で感じたのは、活動する人たちの「自分たちが生まれ育った地域へ恩返ししたい」「次の世代にもこの地域の魅力を感じてほしい」という地域への思いで、この思いが活動の源となっているとつくづく実感しました。

今後、さまざまな地域で今以上に活性化に向けた取り組みが成されることを期待します。

最後になりますが、今回の編集にあたり、お忙しい中、快く取材に応じてくださった方々に心より感謝します。ありがとうございました。(着)

※お詫びと訂正
広報みはま9月号において誤りがありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正します。

正しくは、次のとおりです。

22頁(す)が放送局
誤：川村学園 河村幸江氏 監修
正：河村学園 河村幸江氏 監修